

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 十二指腸狭窄を有する切除不能膵腺癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除方法に関する多施設共同後ろ向き観察研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 川本 泰之 (消化器内科・特任助教)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]
千葉県がんセンター 消化器内科 診療部長 石井 浩

[共同研究機関名・研究責任者名]

医療機関	研究責任者
石川県立中央病院 消化器内科	辻 国広
千葉県がんセンター 消化器内科	辻本 彰子
杏林大学医学部附属病院 腫瘍内科	岡野 尚弘
四国がんセンター 消化器内科	浅木 彰則
松山赤十字病院 肝臓・胆のう・膵臓内科	畔元 信明

[研究の目的]

ステントまたはバイパスによる十二指腸狭窄に対する解除方法が、化学療法を開始する切除不能膵腺癌の予後にあたえる影響を明らかにする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日の間に、十二指腸狭窄症状を有する切除不能初発膵腺癌患者の方のうち、十二指腸狭窄解除術として消化管ステント挿入術または外科的胃空腸吻合術を企図し、いずれかの処置を受けた方。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、ECOG PS、閉塞性黄疸の有無、最終生存確認日・状態、腫瘍因子、血液検査結果、十二指腸狭窄に対する処置、化学療法

上記のカルテ情報は、調査票の郵送またはエクセルファイル調査票の送付にて研究事務局（松山赤十字病院）で収集し、研究事務局が集計及び解析を行います。

[研究実施期間]

実施許可日～2021年3月31日（登録締切日：2019年11月30日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、本研究の内容に関しては、データの収集及び解析が終了した時点で、研究全体の検討を実施し、速やかに学会発表および論文発表が行われます。その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 消化器内科 担当医師 川本 泰之

電話 011-716-1161 FAX 011-706-5657